

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物処理に関する管理体制は、廃棄物管理責任者を主に、各部門の廃棄物責任者が適正に廃棄物の取り扱い、発生抑制、分別の徹底、リサイクルの推進をしている。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類数	6	種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,302.16	t	
	(これまでに実施した取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生抑制の為、製造工程内の収率向上、原材料の効率的な利用に取り組み産業廃棄物の削減に取り組んでいる。 ・製造工程から発生する廃水等は、自社活性汚泥処理設備もしくは自社焼却設備にて処理を行い、産業廃棄物の発生抑制に取り組んでいる。 ・発生抑制に関する教育、研修にて「マネジメントの目的・目標の周知」を実施している。 ・発生抑制の為、外部の環境情報を逐次確認し、また行政等からの情報収集を行っている。 		
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類数	3	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	550.51	t	
	(今後実施する予定の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生抑制の為、製造工程内の収率向上、原材料の効率的な利用に取り組み産業廃棄物の削減に引き続き取り組む。 ・製造工程から発生する廃水等は、自社活性汚泥処理設備もしくは自社焼却設備にて処理を行い、産業廃棄物の発生抑制に取り組む。 ・発生抑制に関する教育、研修にて「マネジメントの目的・目標の周知」を実施する。 ・発生抑制の為、外部の環境情報を逐次確認し、また行政等からの情報収集を行う。 		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
① 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程から発生する引火性廃油は、屋外の危険物タンクに一時的に貯留されるが、各廃油を水溶性、非水溶性に分別し、自社焼却設備での焼却温度調整を効率よく行っている。 ・強酸、強アルカリは各々ケミカルドラム等で保管し、廃棄物保管場所の保管上限に達するよりも前に廃棄する事で、万が一の漏洩時の拡散防止に努めている。
	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程から発生する引火性廃油は、屋外の危険物タンクに一時的に貯留されるが、各廃油を水溶性、非水溶性に分別し、外部処理委託の際の性状、処理単価等の明確化に努める。 ・強酸、強アルカリは各々ケミカルドラム等で保管し、廃棄物保管場所の保管上限に達するよりも前に廃棄する事で、万が一の漏洩時の拡散防止に努めている。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
② 計画	【(令和7年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	1,553.10	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
	焼却処理施設を自家運転し、製造工程から発生する廃水等は自社焼却処理を実施している。			
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.00	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
	将来の生産品目の変化を見据え、自社焼却施設を休止し、現在自社処理している分はすべて、外部委託処理に一時的にシフトする。尚、焼却炉の更新は2030年頃を予定している。			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
② 計画	【(令和7年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	749.06	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	740.97	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	8.23	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への処理委託を開始している。 ・関東近郊の複数の委託業者から処理委託に関する情報収集を行うとともに相見積もりを取得し、種類及び性状に応じて適正な業者選定を実施している。また、委託業者との契約締結前に「新規委託業者チェックリスト」を用いて処理施設の確認を実施した後、契約を締結している。 			

② 計画	【(令和7年度)目標】		
	⑩ 全処理委託量	550.51	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	540.50	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.51	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への処理委託を開始している。 ・関東近郊の複数の委託業者から処理委託に関する情報収集を行うとともに相見積もりを取得し、種類及び性状に応じて適正な業者選定を実施している。また、委託業者との契約締結前に「新規委託業者チェックリスト」を用いて処理施設の確認を実施した後、契約を締結している。 		
電子情報処理組織の使用に関する事項(電子 manifests の使用に関する事項)	【前年度(令和6年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ホリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	2,302.16	t
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所で発行する産業廃棄物管理票はすべて、電子情報処理組織を使用している。また、グループ会社から受託処理している引火性廃油、廃酸に関する廃棄物管理票についても、電子情報処理組織を利用している。 		
※ 事務処理欄			

* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

備考

- 1 この様式は、前年度(令和6年度)の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和6年度)の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入してください。なお、中間処理を行うことにより、特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量を含めて記入してください。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度(令和6年度)の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入してください。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入してください。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 9 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

特別管理産業廃棄物処理計画書

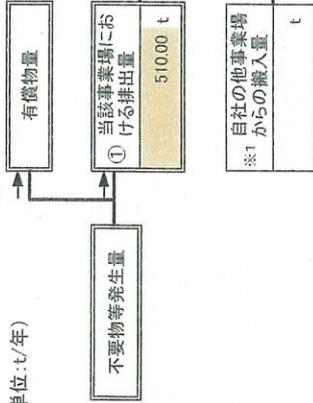
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

7. 特管廃油

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

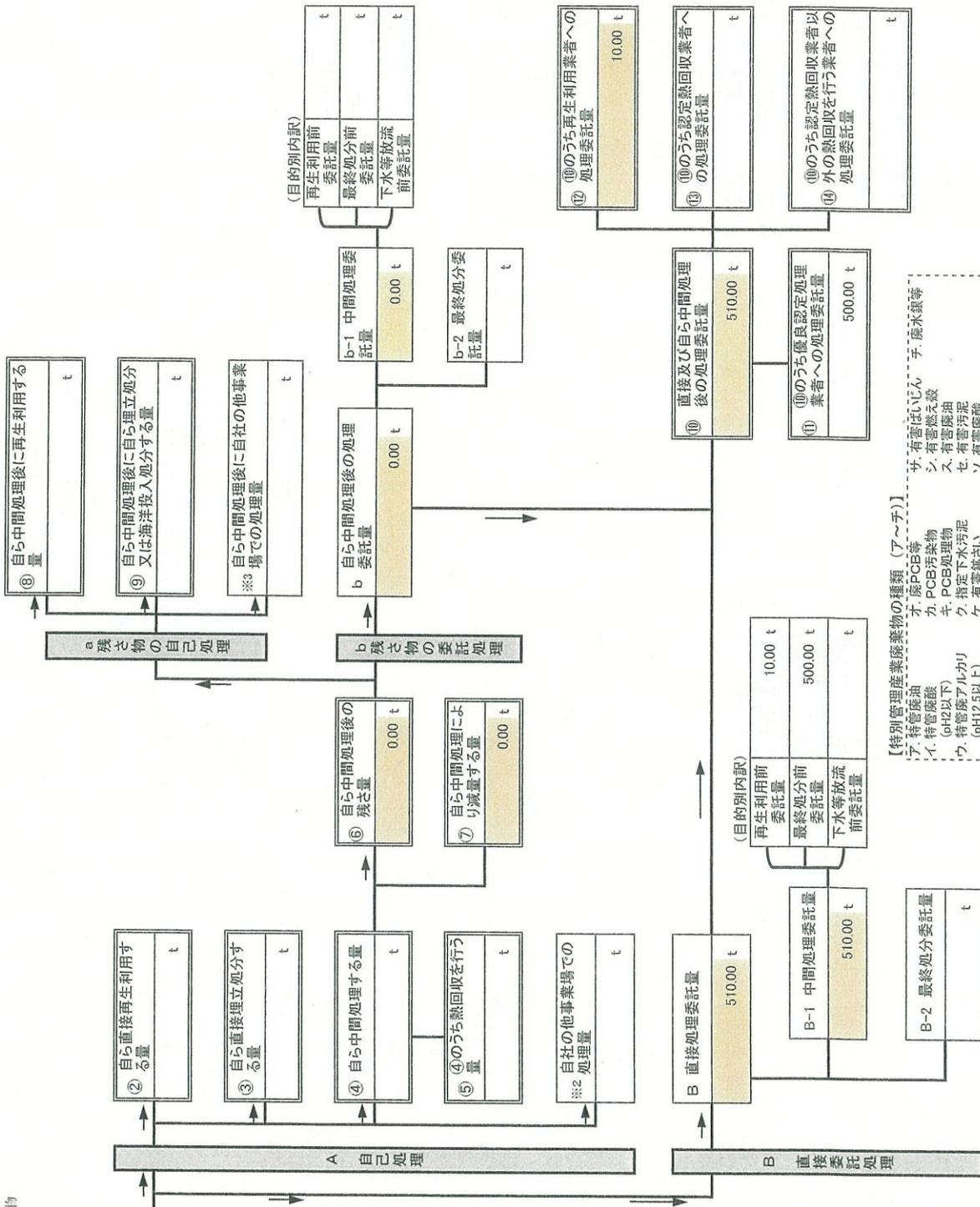
(単位:t/年)



項目	令和6年度実績
① 排出量	2,211.61 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	1,553.10 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	658.51 t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	650.44 t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	8.11 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式5をあわせて提出する場合には、先に様式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところから数値が反映されます。

事業場名称：第一三共株式会社 小田原事業所



- 【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】
- ア. 特管廃油
 - イ. 特管廃酸
 - ウ. 特管廃アルカリ
 - エ. 特管廃アルカリ (pH2.5以上)
 - オ. 感染性廃棄物
 - カ. 汚染PCB等
 - キ. PCB汚染物 (pH2以下)
 - ク. 指定下水汚泥
 - コ. 廃石綿等
 - サ. 有害ばいじん
 - シ. 有害燃え殻
 - ス. 有害廃油
 - セ. 有害汚泥
 - ソ. 有害酸
 - タ. 有害廃アルカリ
 - チ. 廃水銀等

特別管理産業廃棄物処理計画書

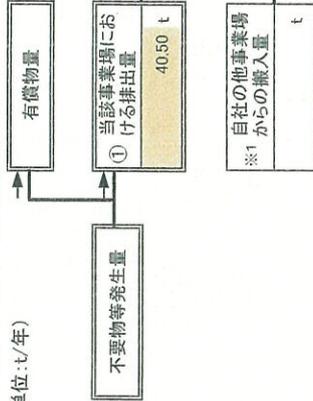
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した特別管理産業廃棄物の種類

イ. 特管廃酸(pH2以下)
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



当該事業場における排出量 40.50 t

自社の他事業場からの搬入量 ※1

不要物等発生量

有償物量

① 排出量

②+③ 自ら再生利用を行った量

④ 自ら熱回収を行った量

⑤ 自ら中間処理を行った量

⑥+⑦+⑧ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

⑨ 全処理委託量

⑩ 優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 再生利用業者への処理委託量

⑫ 認定熱回収業者への処理委託量

⑬ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 再生利用業者への処理委託量

⑮ 優良認定処理業者への処理委託量

⑯ 再生利用業者への処理委託量

⑰ 認定熱回収業者への処理委託量

⑱ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑲ 再生利用業者への処理委託量

⑳ 優良認定処理業者への処理委託量

㉑ 再生利用業者への処理委託量

㉒ 認定熱回収業者への処理委託量

㉓ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

㉔ 再生利用業者への処理委託量

㉕ 優良認定処理業者への処理委託量

㉖ 再生利用業者への処理委託量

㉗ 認定熱回収業者への処理委託量

㉘ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式5をあわせて提出する場合には、先に様式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	90.48 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑤ 自ら中間処理を行った量	0.00 t
⑥+⑦+⑧ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑨ 全処理委託量	90.48 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	90.48 t
⑪ 再生利用業者への処理委託量	0.08 t
⑫ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑬ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑮ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑯ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑰ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑱ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
⑲ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑳ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㉑ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉒ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㉓ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㉔ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉕ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㉖ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉗ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㉘ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㉙ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉚ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㉛ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉜ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㉝ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㉞ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㉟ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㊱ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊲ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㊳ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㊴ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊵ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㊶ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊷ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㊸ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㊹ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊺ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
㊻ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊼ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
㊽ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
㊾ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
㊿ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t

- 【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】
- ア. 特管廃油
 - イ. 特管廃酸 (pH2以下)
 - ウ. 特管廃アルカリ (pH12.5以上)
 - エ. 感染性廃棄物
 - オ. 有害廃油
 - カ. PCB等
 - キ. PCB処理物
 - ク. 指定下水汚泥
 - ケ. 有害汚泥
 - コ. 有害廃酸
 - サ. 有害ばいじん
 - シ. 有害燃え殻
 - ス. 有害廃油
 - セ. 有害汚泥
 - ソ. 有害廃酸
 - タ. 有害アルカリ

特別管理産業廃棄物処理計画書

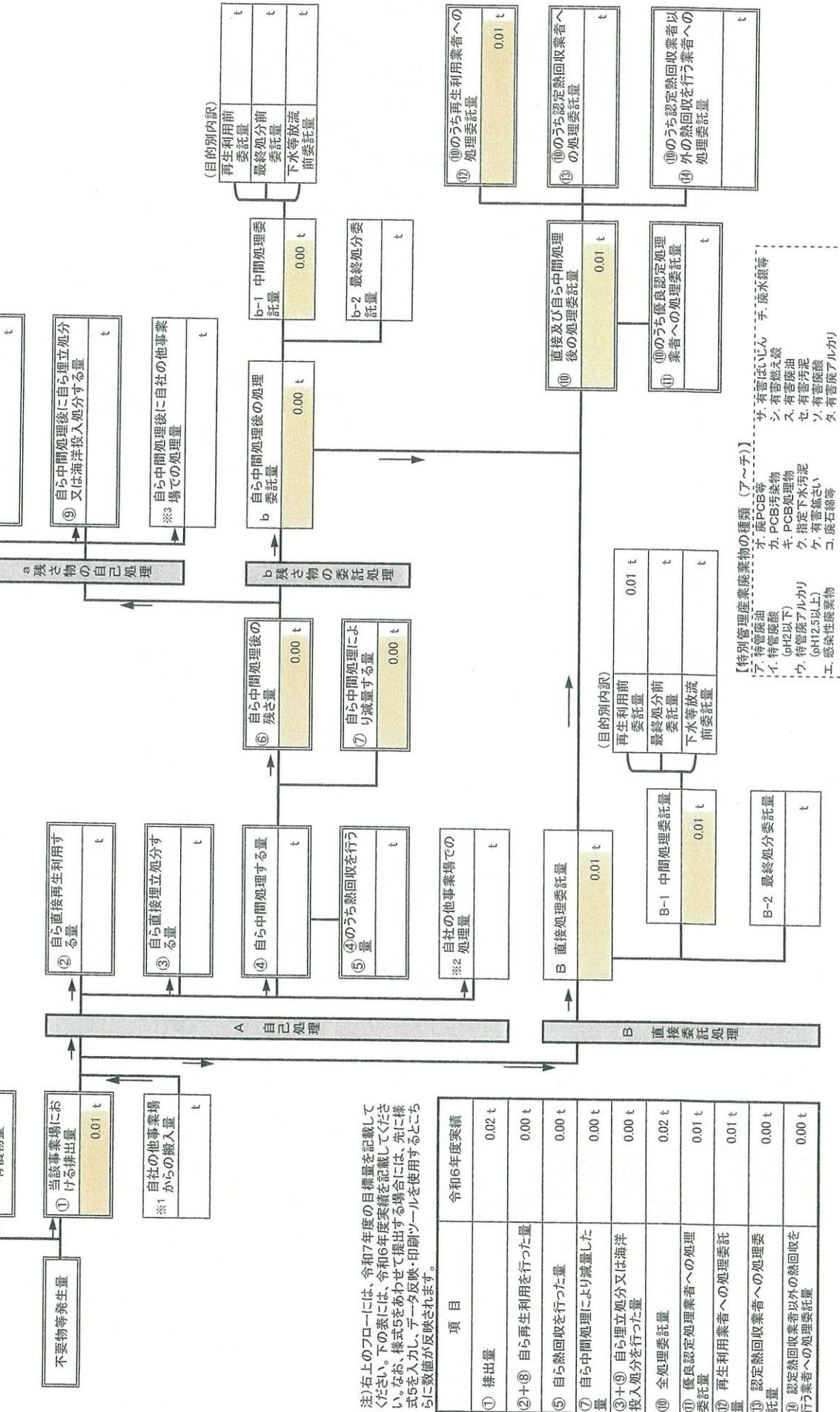
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

ウ、特管理アルカリ
 理産業廃棄物の種類
 (pH12.5以上)

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載して
 ください。下の表には、令和6年度実績を記載してくだ
 さい。なお、様式5をあわせて提出する場合には、先に様
 式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するご
 ちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.02 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	0.02 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.01 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】

- ア. 特管理廃油
- イ. 特管理酸
- ウ. 特管理アルカリ (pH12.5以上)
- エ. 特管理アルカリ (pH12.5以下)
- カ. PCB汚染物
- キ. PCB処理物
- ク. 指定下水汚泥
- ケ. 有害燐酸
- コ. 廃石綿等
- サ. 有害ばいじん
- シ. 有害燃え殻
- ス. 有害廃油
- セ. 有害汚泥
- ソ. 有害燐酸
- タ. 有害焼アルカリ

特別管理産業廃棄物処理計画書

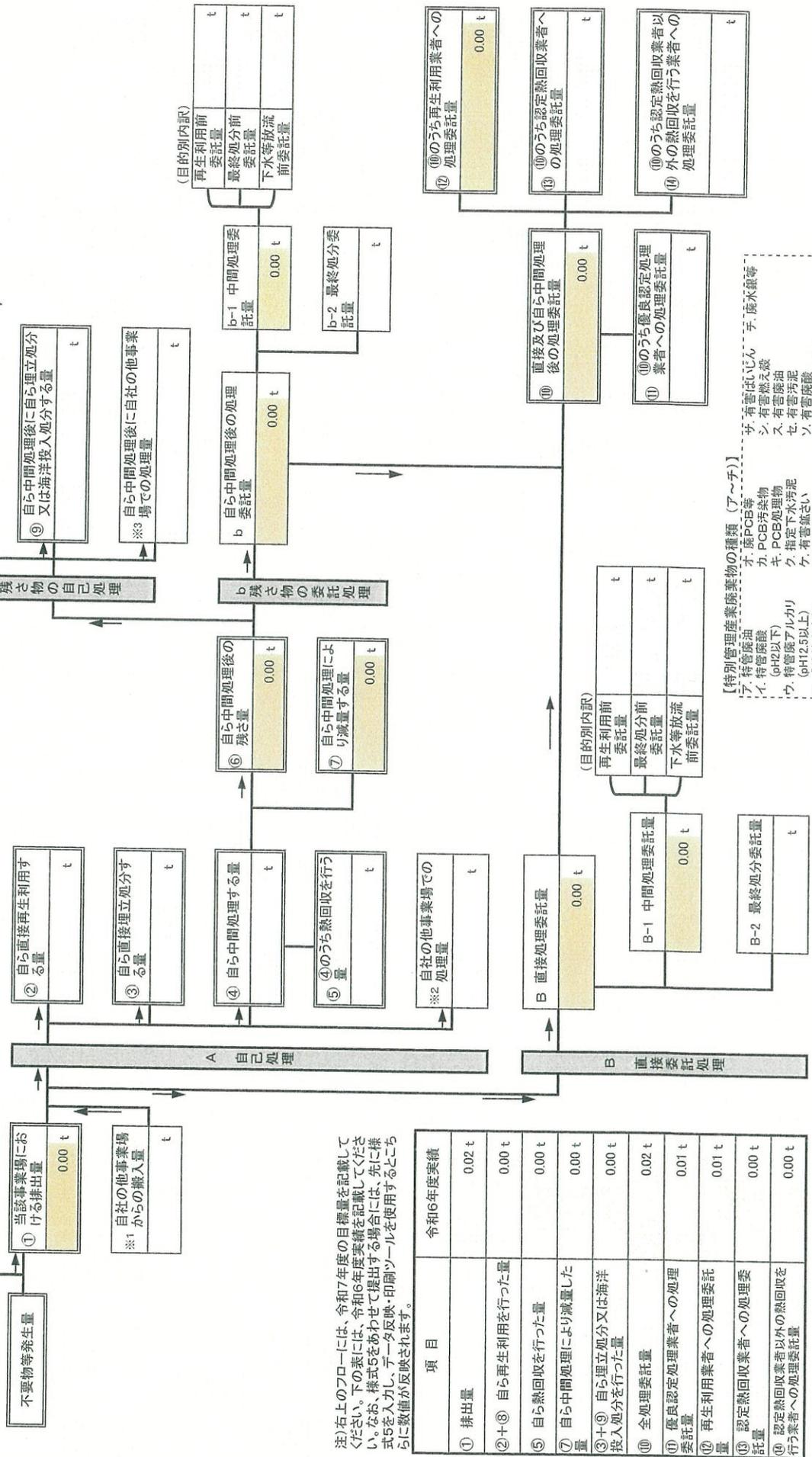
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【特別管理産業廃棄物の種類】
ス、有害廃油

※ 本計画は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式5をわざわざ提出する場合には、先に様式5を入力し、データ区映・印刷ツールを使用するところからに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.02 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	0.02 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.01 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

- 【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】
- ア 特種廃油
 - イ 特種廃酸 (pH2以下)
 - ウ 特種廃アルカリ (pH12.5以上)
 - エ 感染性産業廃棄物
 - オ 廃PCB等
 - カ 汚染土壌
 - ク 汚染地下水
 - コ 汚染水
 - ク 汚染土
 - ケ 汚染スラッジ
 - コ 汚染土
 - カ 汚染土
 - キ 汚染土
 - ク 汚染土
 - ケ 汚染土
 - コ 汚染土

特別管理産業廃棄物処理計画書

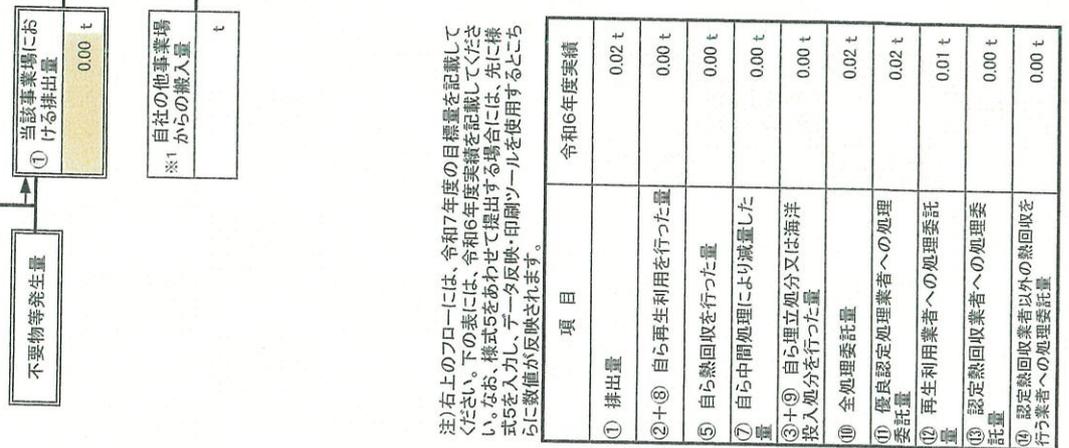
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した特別管理産業廃棄物の種類

※ 本処理フローは廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式5をあわせて提出する場合には、先に様式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.02 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	0.02 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.02 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.01 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

- 【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】
- ア. 特管廃油
 - イ. 特管廃酸
 - ウ. 特管廃アルカリ
 - エ. 特管廃樹脂
 - オ. 特管廃油 (GH2以下)
 - カ. PCB汚染物
 - ク. 指定下水汚泥
 - ケ. 有害塩素
 - コ. 腐石綿等
 - サ. 有害試みじん
 - シ. 有害燃え殻
 - セ. 有害廃油
 - ソ. 有害廃泥
 - タ. 有害廃アルカリ
 - チ. 廃水銀等

特別管理産業廃棄物処理計画書

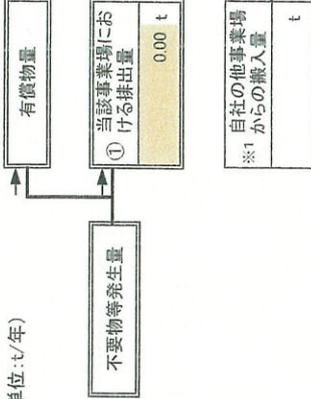
別紙処理フロー

令和7年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した特別管理産業廃棄物の種類 ㊦、有害廃アルカリ

※ 本計画は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

b-1 中間処理委託量	0.00 t
b-2 最終処分委託量	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.00 t
-------------------	--------

⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
-------------------------------	---

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式5を合わせて提出する場合には、先に様式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することから数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.01 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	0.01 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	0.01 t
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑩ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

事業場名称： 第一三共株式会社 小田原事業所

4-2 法定 自主

- 【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】
- ア. 特管廃油 (pH2以下)
 - イ. 特管廃酸 (pH12.5以上)
 - ウ. 特管廃アルカリ
 - エ. 有害廃酸
 - オ. 有害廃油
 - カ. PCB汚染物
 - キ. PCB処理物
 - ク. 指定下水汚泥
 - ケ. 有害汚泥
 - コ. 腐食性廃棄物
 - ク. 腐食性廃棄物
 - カ. 腐食性廃棄物
 - キ. 腐食性廃棄物
 - ク. 腐食性廃棄物
 - ケ. 腐食性廃棄物
 - コ. 腐食性廃棄物